

事業所名

菜の花 発達サポート そだちの間

支援プログラム

作成日

R 8

年

3

月

日

法人（事業所）理念		子どもの未来のために 子どもの全面発達を～産休明け 障児 学童保育を～					
支援方針		身体・言葉の発達を専門的に支える 大小の集団で「関わる力」をより丁寧に育てる お茶の間の様な温かい保護者支援					
営業時間		9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり なし
		支援内容					
本人支援	健康・生活	◎「よく食べる、よく遊べる、よく眠れる」健康になれる生活リズムの形成を保護者と共に育てていく ◎自分の身の回りのことを自分で出来る様に身辺自立の力を育て、自分で生活の見通しをつけられる様にしていく ◎豊かな自然環境の中、身近な自然で実施できる様々な体験を取り入れていく					
	運動・感覚	◎赤ちゃん体操、リズム、ハイハイやマットなどで運動の基礎の力を育て、体の調整力を育てる ◎砂・水・泥など、豊かな自然環境を生かして、様々な体験を行い感覚の調整力や統合する力を育てていく ◎豊かな自然環境の中で能動的に動く事を通し、自分の出来ることを増やし、出来ない事・苦手な事に気づく					
	認知・行動	◎自然の中で五感を使って対象を認知し、状況に応じた行動を選択できる力を育てる。 ◎季節や環境の変化に気づき、見通しを持って活動に参加する経験を重ねる。 ◎保育者と専門職が連携し、見通しを持って行動できるよう、視覚的・言語的な支援を組み合わせる。					
	言語 コミュニケーション	◎自分の願いや嫌だと思ふ事、感じている事や考えている事、してほしい事、困っている事を周囲にわかる形で表現し伝えられる。 ◎周囲の人が信頼でき、にこにこ笑顔で安心して生活を送れるようになる。 ◎周りの人たちの思いや願いに気づき、自分の意志と異なる時は、支援を受けながら交渉したり折り合いをつけられるようになっていく。					
	人間関係 社会性	◎こども園の大きな集団と、そだちの間の小集団・個別の環境を行き来しながら、その子に合った関わり方を体験し、安心して社会性を育めるようにする。友だちとの協力・役割分担・順番などの集団でのふるまいを、段階的に身につけられるよう支援する。					
家族支援		◎家庭と園生活の困りごとに寄り添い、保護者と共に歩む“伴走する支援”を大切に。専門職が日々の関わり方や家庭での工夫をわかりやすく伝え、こども園と連携して園での様子も細やかに共有する。家庭・園・そだちの間が一つのチームとなり、安心して子育てできる環境を整える。			移行支援		子どもの育ちや特性を丁寧に見取り、次の環境へ安心して移行できるよう“伴走する支援”を行う。こども園や関係機関と連携し、園生活や家庭での様子を共有しながら、必要な配慮や支援方法を一緒に考える。
地域支援・地域連携		地域の関係機関とつながり、子どもと家族が地域の中で安心して暮らせるよう“伴走する支援”を行う。こども園を中心に、保健・医療・福祉・教育と連携し、日常の困りごとを早期に共有しながら必要な支援につなぐ。家庭・園・地域が一つの輪となり、子どもの育ちを継続的に支える体制を整える。			職員の質の向上		こども園と連家した定期的な研修や振り返りを通して、発達支援の知識や関わり方を深め、こども園とそだちの間が一つのチームとして子どもと家族を支える力を高めていく。
主な行事等		こども園の行事を共用し、季節の体験や大きな集団での関わりを通して子どもの育ちを広げる。そだちの間の職員が子どもに寄り添いながら参加を支え、園と連携して無理のない形で行事を楽しめるようにする。					